


令和2年度


1年 生徒による授業評価


令和3年1月

以下の項目について、


自己評価  4:できている


 3:だいたいできている


 2:あまりできていない

 1:できていない

授業評価  4:そう思う

 3:だいたいそう思う

 2:あまり思わない

 1:思わない

の4段階法で評価しました。

自己評価

- ① 授業開始時刻には、宿題や持ち物など指示された準備をして授業に臨んでいますか
- ② 授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか
- ③ 授業中、自分の考えをもって意欲的に取り組んでいますか
- ④ 授業の中で、話し合ったりお互いに考えを深めたりしていますか
- ⑤ ノートやワークシート、レポートなどに自分の考えをまとめていますか
- ⑥ 学んだことを忘れないように復習または見直しをしていますか

授業評価

- ⑦ 授業の開始・終了時刻が守られていますか
- ⑧ 授業では学習の目標（めあて・ねらい）を示したり、振り返り（まとめ）の活動を行っていますか
- ⑨ 授業はわかりやすく教えてくれたり、考えさせてくれたりしますか
- ⑩ 電子黒板やICT機器を工夫して効果的に授業を進めていますか
- ⑪ 先生が用意するワークシートや資料類は授業に効果的ですか
- ⑫ 授業を受けることで、この教科・科目に対する興味が深まりましたか

※集計欄の数値は各項目の平均値です。2.5が中央値、3を超えれば良好な評価といえます。

※グラフは「自己評価」「授業評価」それぞれの評価値の分布です。1～4の値をつけた度数の割合を示しています。

生徒による授業評価のまとめ

凡例：
 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	
1年国語	<ul style="list-style-type: none"> 課題を締め切り前に終わらせる生徒が増えてきました。ワーク等は日頃からコツコツと進めておくとうちも身に付きます。 忘れ物や提出物遅れをする人が偏っています。円滑に授業に参加できるように、事前準備を徹底しましょう。 自分の考えをまとめて、スピーチすることに慣れてきました。構成を工夫しながら原稿を書く発表がしやすくなると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の目標をより明確に示すようにします。 小テストやワークを用いて復習する機会を設け、学力の定着を図ります。 生徒の学習意欲を高めるような内容の教材づくりをしていきます。 生徒同士が活発に意見交換を行い、集中して学習に取り組める環境を整えます。 	3.6	3.8	3.5	3.4	3.5	3.1	3.6	3.2	3.7	3.7	3.7	3.7	3.6
1年社会	<ul style="list-style-type: none"> 意欲的に授業に取り組もうという姿勢が身に付いてきました。 授業で学習した内容がどのような問題となって出題されるのか結び付いていないようです。ワークを解くだけでなく、自分で問題を作成できるようになるとさまざまな問題に対応できるようになります。問題数・問題の種類を意識して学習していくと良いでしょう。 語句をおぼえるだけでなく「なぜそうなった(なっているのか)」ということに注目して学習すると知識を活用しやすくなります。 語句だけでなく、地図と合わせて学習しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業ごとに内容を明確に示すようにします。 授業の内容をニュースや身近なものに関連付けて授業を進めていきます。 ICTを活用してより視覚的に捉えられるようにします。 単元の最後に社会的思考を促すまとめをすることで、思考力・表現力を高める機会をつくります。 問題演習を取り入れていくことで様々な問題に触れる機会をつくります。 	3.8	3.8	3.5	3.2	3.5	3.3	3.8	3.4	3.7	3.8	3.9	3.9	3.6
1年数学	<ul style="list-style-type: none"> 発言など授業に積極的に取り組む生徒が多いです。さらに日常的な予習・復習に取り組めると確実な力がついてくると思います。 課題に対して真剣に取り組む生徒が増えてきました。わからなかった場合、そのままにせずすぐに質問するなど解決するようにしていくとよいです。 テストや授業でできなかったところは、何が違ったのか、何がわからなかったのかを理解し、それの一つ一つ克服していくことで、次の新しいステップに進むことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の授業の達成目標を明確にし、取り組みやすくします。 重要な箇所は、繰り返し小テストなども用いながら反復練習で身に付けられるようにします。 なぜ、そうなのかということ授業内で触れるようにし、理解を深められるようにします。 授業時間内に、その時間の復習が少しでもできるような時間をとれるよう工夫します。 スモールステップで、分かりやすい授業を行います。 	3.6	3.6	3.3	3.2	3.2	3.0	3.7	3.0	3.4	3.6	3.5	3.5	3.1
1年理科	<ul style="list-style-type: none"> 教室や理科室での実験・観察に積極的に取り組むことができている。一方で、本アンケートの質問項目を詳細に分析すると「自分の考えをまとめていますか(3.2/4)」や「学んだことを忘れないように復習または見直しをしていますか(3.4/4.0)」の項目の回答が他の質問項目(平均3.8/4.0)と比較すると低い結果となっています。授業を受けたその日のうちに学習したことを振り返り、実験・観察については考察を確実に書き終える習慣を身に付けてください。思考力・判断力・表現力は考える時間の長さとともに伸長されると思います。今後は、振り返りや考察の充実、復習等の授業後の取り組みに一層の力を入れていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な体験の確実な実施を理科の授業の柱として、実験・観察の種類と回数の充実を図ります。コロナ禍においても、実験用具の個別化・グループの少人数化・家庭での実験・観察の実施など工夫してきました。今年度は対話的な学びを授業で構成することがしづらい環境ですので、実験の結果に基づく考察を深める場面(自己内対話)を積極的に設定します。考察力を高めるためには、1回の授業の中で授業のねらいを的確に捉え、そのねらいに沿って考えを深めることが求められます。今後は、毎時の振り返りシートを導入することにより、生徒が科学的な思考力・表現力を高められる学習環境をつくります。 	3.8	3.8	3.5	3.3	3.4	3.2	3.7	3.6	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7

生徒による授業評価のまとめ

凡例：
 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
1年音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントの上の青い枠に、授業の目標が書いてあります。よく見るようにしましょう。 ・歌唱では意欲的に歌っている生徒が多くいます。少人数で歌ったり演奏したりするときも、自信をもってやってみましょう。 ・歌の音程が難しいときや、アルトリコーダーの運指がわからないときには、気軽に質問をしてください。 ・鑑賞では、感想や自分の考えをたくさん書いている生徒が多く見受けられます。積極的に自分の感想や意見を発表してみましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板やICTが使用できない教室でも、効率的な授業をするため、わかりやすいプリントや資料を配布します。 ・1人でも自信をもって歌ったり演奏したりできるように、テスト前にも少人数で指導する時間を設けます。 ・意見を発表する時間を積極的に設けて、互いに考えを深められる授業にしています。 ・授業の終わりに、その日の授業のまとめを行います。 	3.8	3.8	3.6	3.4	3.4	2.9	3.6	3.4	3.6	2.6	3.7	3.5
			<p>自己評価: 59.6 (4), 30.2 (3), 8.1 (2), 2.1 (1) 授業評価: 60.0 (4), 26.5 (3), 8.0 (2), 6.0 (1)</p>											
1年美術	<ul style="list-style-type: none"> ・真面目な生徒が多く、授業に向かう姿勢もとても意欲的な生徒が多いです。わからないことがあれば、先生に質問をするようにしましょう。 ・絵の上達の秘訣はよく物を観察することです。日常生活の中でも物をよく見て考えることを続けましょう。 ・週に1回の授業なので、復習と見直しをしっかり行う必要があります。特に定期考査前は、プリントの見直しとデッサンの練習を行ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に的確な助言ができるよう、制作中は常に一人一人の様子を見て回っていきます。 ・造形の楽しさに気付けるよう興味のもてる教材を工夫していきます。 	3.9	3.9	3.8	3.4	3	3.1	3.9	3.4	3.8	2.7	3.2	3.8
			<p>自己評価: 66.4 (4), 22.5 (3), 7.4 (2), 3.7 (1) 授業評価: 63.4 (4), 24.2 (3), 8.0 (2), 5.0 (1)</p>											
1年保体男	<ul style="list-style-type: none"> ・例年と比べ、授業遅刻や忘れ物、提出物の不徹底が多く見受けられます。授業に臨む姿勢をしっかりと構築しましょう。 ・ワークシートへの記述内容は、思考・判断を表すものです。自己の動きや活動全体を振り返り、分析して自己評価をするとともに、今後の課題を発見できるようにワークシートを有効活用しましょう。 ・全体的に、身体各部の柔軟性に課題のある生徒が多く見受けられます。日常的に身体各部のストレッチや柔軟体操を取り入れ、可動範囲を広げましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて学級担任、家庭とも連携し、繰り返し個別に指導を行っていきます。 ・ワークシート記述の模範例等を示したり、提出の徹底を図ったりするなど、より一層効果的なワークシートの活用を目指します。 ・柔軟性の必要性和正しい実施法の理解を促し、毎回の授業の準備運動で、身体各部の柔軟体操を十分に行っていきます。 	3.6	3.8	3.6	3.5	3.5	3.4	3.7	3.6	3.6	3.3	3.8	3.7
			<p>自己評価: 66.6 (4), 27.1 (3), 3.5 (2), 2.8 (1) 授業評価: 68.9 (4), 24.8 (3), 4.0 (2), 3.0 (1)</p>											
1年保体女	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら積極的に活動できる人が増えてきました。指示をしっかり聞き、仲間と協力してスムーズに授業を進めましょう。 ・仲間同士のアドバイスの時間を大切にしましょう。得意・苦手は人それぞれです。仲間を認め、具体的な気付きやプラスの声掛けをしていきましょう。 ・ワークシートの記入を工夫しましょう。授業の反省やまとめには「自分なりの分析や考え」を、pointにはただ書き写すのではなく、「分かりやすさ」を意識してみてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTの活用はipadを中心に、自分の課題を発見できるという点で効率的な活用を継続していくようにします。 ・自己の振り返りや授業のまとめ、グループでのアドバイスの時間を確保していきます。 ・ワークシートは、要点を分かりやすくしたり、意欲的な取り組みを促すようにしたりする工夫をした上で継続していきます。 	3.6	3.9	3.5	3.6	3.5	2.8	3.8	3.7	3.7	3.6	3.8	3.6
			<p>自己評価: 57.3 (4), 35.3 (3), 6.0 (2), 1.3 (1) 授業評価: 72.2 (4), 26.1 (3), 2.0 (2)</p>											

生徒による授業評価のまとめ

凡例：
 自己評価 4:できている 3:だいたいできている 2:あまりできていない 1:できていない
 授業評価 4:そう思う 3:だいたいそう思う 2:あまり思わない 1:思わない

教科	今後の授業における具体的な施策／改善策 (生徒に要求するもの)	今後の授業における具体的な施策／改善策 (教員が授業で改善していくもの)	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
1年技術	<ul style="list-style-type: none"> ・集中してしっかりと授業を受けてとても良いと思います。特にノートの取り方が上手になった生徒が多く感心しました。 ・実習では全員忘れずにフェイスシールドを着用して感染防止に努めながら作業ができていました。 ・実習の際、安全な作業を心掛け、集中して行いましょう。 ・工夫をしながら丁寧に作品を作るように心掛けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを作成して、より授業への理解が深まるようにしていきます。 ・実習などでも、電子黒板を積極的に活用し、効果を高めていきます。 	3.7	3.8	3.7	3.4	3.5	3.2	3.8	3.5	3.6	3.4	3.5	3.6
1年家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に真面目に取り組んでいる生徒が多く良かったです。 ・できあがりの形を想像しながら、計画的に作品製作をしている生徒が多数見受けられ、良かったです。 ・作品、プリント、食生活ノートの提出や期限を守れない生徒が見受けられるので改善を目指しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期の学習では、学習の目標(めあて・ねらい)を示すこと、振り返り(まとめ)の活動をより明確に行うように心掛けます。 	3.6	3.7	3.7	3.3	3.4	3.0	3.8	3.4	3.6	3.4	3.7	3.6
1年英語	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に積極的に英語を使う生徒が増えてきました。プリントを使って練習した表現だけでなく、「これを英語で言いたい！」という気持ちを大切に Classroom English の表現を増やしていきましょう。 ・暗唱に意欲的に取り組んでいます。言葉や文の意味を考え、聞き手に伝わるような表現の暗唱になるようにレベルアップを目指していきましょう。 ・提出のためのEノート作りはできている生徒が多いですが、中学校で学んだ大切な英語学習ノートになるように意識して、Eノート作りを工夫しましょう。そのためにも、学んだ文法を使って英文を書く『オリジナル文』の作成にもっと楽しんで取り組んでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りシートに「これを英語で言いたい！」というコーナーを作り、定期的に言いたい表現(日本語)を募集します。募集した日本語を Classroom English として使える表現に直し、英語科通信で伝えます。 ・感染症防止対策をしながら、状況を捉えて発表形式を取り入れていきます。暗記の時間が、暗記大会にならないように、できるだけタイムリーに助言をしていきます。 ・英語科通信を通して、『オリジナル文』の上手な例を紹介していきます。 ・英文の添削と各自に合った助言をし、表現力が高まるように支援します。 	3.7	3.8	3.7	3.6	3.5	3.4	3.8	3.5	3.8	3.9	3.7	3.6